

赤れんが倉庫周辺整備と民間活力の導入

赤れんがパークの

さらなる賑わい創出へ



上) 賑わう赤れんがパーク 左) 赤れんが周辺の整備後イメージ 右) 赤れんが博物館前広場整備後イメージ

赤れんが倉庫群等は、国の近代化のあゆみや海軍ゆかりの歴史・文化などを現代に伝える貴重な舞鶴の宝です。赤れんがと海・港を生かし、赤れんがパーク周辺一帯のさらなる賑わい創出に向けた取り組みを進めています。

◆赤れんがパーク周辺の整備

赤れんがパーク周辺の整備に向け、平成27年度に「舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり基本構想」、平成28年度に「舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり基本計画」、平成29年度に「舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり実施計画」を策定。これらに基づき、令和元年度から、防衛省の「まちづくり支援事業」を活用して整備事業に着手しています。今年度は、赤れんが博物館前を、自衛隊艦艇などを望む舞鶴ならではの雄大な景観を生かした広場として整備します。

また、文部科学省所管の赤れんが倉庫3棟を活用するために展示基本構想を策定し、近代化遺産のあゆみや、海軍ゆかりの歴史・文化などを、現代に伝える本市の重要な役割を担うための機能を具現化していきます。

魅力ある地域資源である赤れんが倉庫が、引き続き、市民の皆さんに愛されながら、これまで以上に多様な主体が参画、活躍し、大きな賑わいを創出する

まいづる元気人

Vol.88

高齢者が住み慣れた地域で仲間と笑顔で暮らせるために

改革が認められ会長へ

もともと余内地区の老人クラブで活動していたが、平成26年から舞老連副会長を、平成27年には舞老連の50年編集委員を務めた。

舞老連の運営に携わるようになって、舞老連の存在が知られていない、PRができていないために年々会員数が減少する実態を知ったという。「まずはこれまで白黒だった記念史をカラーで作成することから始めました。また、楽しく活動している様子を知ってもらうために、全クラブから写真を提供してもらい紹介することにしました。代わりに紹介文を作成したクラブは1つや2つではありません」と当時の様子を振り返る。

また、年々会員数が減少する状況を打破するため、市の補助金制度のあり方を見直してもらおう働き掛けも行った。「市



舞鶴市老人クラブ連合会 会長 内海 均さん

老人福祉法で老人福祉を増進するための組織として位置付けられている老人クラブ。「のぼそー健康寿命、担おう、地域づくりを」をメインテーマにスポーツや文化活動を通じて健康づくりや地域の見守り活動、集いの場づくりなどさまざまな活動を行っているが、近年は会員数減少などの課題に直面している。今年度から舞鶴市老人クラブ連合会(以下、舞老連)の会長に就任し、課題解決に向け奔走する内海さんに話を伺った。

魅力のある老人クラブへ

「人生100年時代。いつまでも健康で長生きすることが重要です。一人では難しくても、仲間とのつながりや交流の中で生きがいが見つかるものです。現在市内には37のクラブがあり、グラウンド・ゴルフ大会やワナゲ大会など楽しく活動しています。また、会員自らがさまざまな活動を企画できる環境にもあります。ぜひ、クラブに参加していただき、長年培われてきた技能や知識を発揮してもらえたらうれしいです」と笑顔で話す。

11月24日には多くのクラブが参加し、これまでの活動を披露する「みんなの集い演芸大会」を開催する予定で、各クラブ活動の活性化や会員増加につながることを期待しているという。「現在は地域や人とのつながりがだんだん希薄になっていきます。『独居老人』や『老々介護』が問題視されているからこゝで、老人

ことを目指し、赤れんが周辺エリア一帯の活用に向けた取り組みを積極的に進めていきます。

◆公募設置管理制度で民間活力を導入

現在、従来の指定管理者制度に加え、新たに公募設置管理制度(Park-PPF)を取り入れ、エリア全体をマネジメントでき、ノウハウやネットワーク、資本力などがある事業者の公募手続きを進めています。

《企画政策課》

まちづくり支援事業

海上自衛隊など防衛施設が所在する地域特性を踏まえ、防衛施設と周辺地域との調和を目的とするまちづくりに対して補助する防衛省の補助事業。

公募設置管理制度(Park-PPF)

民間のノウハウを生かし、より市民のニーズに応えたサービスや賑わいを創出するため、事業者が独立採算で、都市公園内に最長20年間、飲食店などの収益施設を設置・運営することができる制度。

KEYWORD

クラブの活動を通して地域の絆を深めて欲しい。新型コロナの影響は懸念されますが、ぜひ大会を開催し、コロナ禍でも元気な高齢者の姿を披露したい」と語る内海さんの挑戦はまだまだ止まりそうにない。



▲みんなのつどい演芸大会の様子



▲舞老連グラウンド・ゴルフ大会の様子

写真：舞老連提供